

JOYO BANK NEWS LETTER

2025 年 10 月 1 日

国内総合型インフラファンド第2号への投資について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、国内の幅広いインフラ事業等を投資対象とする総合型インフラファンドであるジャパン・インフラストラクチャー第二号投資事業有限責任組合（以下、「第2号ファンド」）への出資契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

第2号ファンドは、持続可能な社会インフラの整備と地域経済の活性化を目指し、環境負荷の低減と社会的インパクトの高いプロジェクト・企業への投資を推進することを目的としたファンドです。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンに掲げ、今後ともステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続け地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

1. 背景

我が国の産業や社会生活を支えるインフラは、脱炭素化への対応のほか、デジタルインフラの整備や社会インフラの維持・管理・強化といった課題に直面しており、持続可能な社会の実現のため、多額の資金需要が見込まれております。

当行は、第4次グループ中期経営計画で地域の持続性向上支援として「地域の脱炭素化に向けたエンゲージメント、投融資拡大」「地域インフラの維持更新・再構築支援」を掲げており、その取り組みの一環として今回、持続可能な社会インフラの整備と地域経済の活性化に寄与する第2号ファンドに投資しました。

2. 本ファンドの概要

名 称	ジャパン・インフラストラクチャー第二号投資事業有限責任組合
設 定 日	2025 年 10 月 1 日
募 集 総 額	1,200 億円（予定）
投資助言者	ジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー株式会社※
運 用 会 社 (無限責任組合員)	インフラストラクチャーGP 株式会社
投 資 対 象	日本国内に所在し若しくは所在することになる、又は日本国内において主たる業務を行い若しくは行おうとする、脱炭素、社会インフラ、デジタル等のインフラ領域に関するプロジェクト及び企業
※三井住友信託銀行株式会社および株式会社マーキュリアホールディングスが共同で設立した国内インフラ領域を専門とする投資助言会社であるジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー株式会社が投資判断等に関する助言を行います。	



常陽銀行



常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

3. 投資助言会社の概要

名 称	ジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー株式会社
設 立 日	2023 年 2 月 21 日
本 店 所 在 地	東京都千代田区丸の内 1-4-1
株 主	三井住友信託銀行株式会社 株式会社マーキュリアホールディングス
事 業 内 容	国内インフラ領域を専門とする投資助言業務
U R L	https://jexi.jp/

以 上